

(1) 工学部の沿革(明治30年4月～平成24年3月まで)

- 明治 30. 4 第五高等学校に工学部創設。(土木学科, 機械学科)
39. 3 熊本高等学校(3年制)新設。(採鉱冶金学科増設)
44. 6 附属工業夜学校(2年制)開設.
- 大正 6. 12 電気工学科を増設.
- 昭和 6. 1 附属工学校へ改称.
14. 4 工業化学科を増設.
15. 4 採鉱冶金学科が採鉱学科と冶金学科へ.
17. 4 建築工学科を増設.
18. 4 附設臨時工業教員養成所を附設工業教員養成所へ改称.
19. 4 熊本工業専門学校へ改称. 電気通信科, 第二部機械科を増設.
20. 4 第二部冶金科を設置.
21. 4 第二部機械科, 第二部冶金科を廃止.
24. 5 熊本工業専門学校が熊本大学工学部へ.
26. 3 熊本工業専門学校を廃止.
29. 4 工学専攻科(修業年限1年)を設置.
30. 7 土木建築工学科が土木工学科と建築学科へ.
34. 4 採鉱冶金学科が鉱山工学科と金属工学科へ.
36. 4 生産機械工学科を設置.
38. 3 工学部創立65周年記念事業会からの寄付により, 工業技術研究所(仮称)を設置.
38. 4 電子工学科を設置.
40. 4 合成化学科を設置. 鉱山工学科を資源開発工学科へ改称.
41. 4 工業技術研究所を工学研究機器センターへ改称.
42. 4 共通講座「工業数学第一」を設置.
46. 4 附属衝撃エネルギー実験所を設置.
47. 4 共通講座「工業数学第二」を設置.
49. 4 環境建設工学科を設置.
52. 11 工学部創立80周年記念事業会からの寄付により機械実習工場を改装し, 研究資料館を開設.
54. 4 情報工学科を設置.
61. 4 電気工学科・電子工学科・情報工学科を電気情報工学科へ, 工業化学科・合成化学科を応用化学科へ改組.
62. 2 資源開発工学科・金属工学科を材料開発工学科へ, 生産機械工学科・機械工学科を機械工学科へ改組.
63. 4 土木工学科・環境建設工学科(土木コース)を土木環境工学科へ, 建築学科・環境建設工学科(建築コース)を建築学科へ, 共通講座の4講座を工業数学・応用力学の2講座へ改組.
- 平成 4. 4 電気情報工学科に寄附講座(電気エネルギー先端技術講座)を設置.
8. 4 土木環境工学科, 建築学科, 材料開発工学科, 電気情報工学科, 応用化学科および共通講座を整理統合し, 環境システム工学科, 知能生産システム工学科, 電気システム工学科, 数理情報システム工学科, 物質生命化学科の5学科へ改組.
9. 11 工学部創立100周年記念式典を挙行.
16. 2 工学部創立百周年記念事業後援会から寄附を受け, 工学部創立百周年記念館を竣工.
17. 4 文部科学省の特別教育研究費の採択を受け(平成17年度-21年度), ものづくり創造融合工学教育センターを設置.

18.4 環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、及び物質生命化学科の5学科から、新しく物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科の7学科へ改組。

寄附講座(太陽電池・環境自然エネルギー寄附講座)設置。